

プレスリリース

ドイツ・シュツットガルト、2020年10月23日

マーレは空調事業のグローバル基盤を強化

- 日本、タイ、米国における株式会社ケーヒンの空調事業譲渡に合意。
- 日本をはじめ東南アジアの空調システム市場に新規参入。
- 戦略的セグメントである空調ビジネスのグローバルフットプリントを拡充。
- 2021年第1半期に譲渡完了予定。

マーレは、株式会社ケーヒンの日本、タイ、米国における空調事業譲渡に関し合意に達しました。これにより、マーレは空調事業におけるグローバルフットプリント、特に日本を拡充し、そして日本をはじめ東南アジア市場に本格的に参入することになります。また、この事業譲渡は独占禁止法を管轄する各国当局の承認待ちであり、譲渡は2021年第1半期になる見通しです。

「この事業譲渡は、戦略上重要なステップであり、グローバルに競争力を長期的に強化し当社の将来ビジネス拡大に繋がる」また、「同時に、各地域のお客様に対して、より優れた開発サポートと製品を提供できるようになります。」CEOのDr. Joerg Stratmannは説明しています。

空調システムは電動化、そして従来の内燃エンジン車の双方に最も重要なアイテムの一つであります。これらは快適性とエネルギーバランスに大きく影響を与え、車両の航続距離と性能にも影響を与えるものです。マーレはEV用の高効率空調システムとヒートポンプシステムの技術も確立しておりこの製品化にも注力していきます。

お問合せ先:

広報担当 (アジア 1)

ジュディアン・ゴ

Tel: 050-3363-0015

E-mail: judy-ann.go@jp.mahle.com

マールについて

1920に設立したマールは未来のモビリティの先駆者であると同時に、自動車業界トップクラスの開発パートナー、そしてサプライヤーとして世界で活動しています。マールグループは、未来のモビリティを変革するために、内燃エンジンの最適化にたゆまぬ努力を傾けながら、代替燃料の利用拡大を推進し、FCVを含むeモビリティの普及に向けた基盤づくりを行なっています。マールグループはパワートレインや空調技術に関する必要不可欠な要素を網羅する製品ラインナップを展開しています。

2019年の売上高は120億ユーロ（1兆4,711億円）に達しました。現在、世界30ヶ国以上、160の生産拠点で77,000人以上が従事しています。（2019年12月31日現在）